

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 309

1985. 2. 12

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL.092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. リージョンサイズの大きいジョブの制御方式について…………… 1
2. 昭和59年度プログラムライブラリ開発課題(追加)について…… 2
3. 日本語文章推敲ツール「推敲」の使用について…………… 2
4. SPSTINGY, FORTFLOWのレベルアップについて…………… 2
5. Prolog/KRの使用について …………… 3
6. 結晶構造データベースシステムXDTのデータの追加について …… 3

### 1. リージョンサイズの大きいジョブの制御方式について

昨年12月頃から本センターも繁忙期に入り、TSSのレスポンスタイムが悪くなってきました。この原因には様々ありますが、その中でも最大の原因と考えられるのが、メモリ多用ジョブによる主記憶不足です。このためバッチジョブ、および、TSSセッションでリージョンが標準値を超えて指定しているものについては、その実行優先度を低くする制御を行います。従って、リージョンは必要な分だけ指定してご利用ください。不必要に大きなリージョン指定を行いますと、レスポンスが悪くなる恐れがあります。

(業務掛 電(内)2518)

## 2. 昭和59年度プログラムライブラリ開発課題(追加)について

センターニュース№305以後,採用された開発課題は,下表のとおりです。

昭和59年度プログラムライブラリ開発課題一覧(追加)

開発番号	課 題 名	開発者(所属)	開発期間	開発時間	新規/継続
13.12	IPSPルーチンによるリモートセンシングデータ視覚判読分析のためのプログラム	梅干野 晁 南川 喜伸 加藤 倍敬 (九大・工)	1985. 1.7 ) 3.3 1	300分	年度内 継 続
13.13	ADLシステムの機能拡張	長 沢 勲 古 川 由美子 (九大・工)	1985. 1.7 ) 3.3 1	120	年度内 継 続
13.14	Prosidユーザのための支援ツールの開発	後 藤 恵之輔 森 正 寿 (長崎大・工)	1985. 1.7 ) 3.3 1	180	新 規

(ライブラリ室 電(内)2523)

## 3. 日本語文章推敲支援ツール「推敲」の使用について

標記システムが使用できるようになりました。文章の推敲作業の支援にご活用ください。このシステムは、コマンドSUIKOUにより起動されます。

なお、このシステムは、昨年7月の「日本語処理講習会」の日より公開してきたものの改訂版です。使用に際しては、文献[1]を参照してください。

### 参考文献

1. 牛島, 日並, 尹 日本語文章推敲支援ツール「推敲」の使用について, 九大大型計算機センター広報, 18, 1, 9-37, 1985.

(ライブラリ室 電(内)2523)

## 4. SPSTINGY, FORTFLOWのレベルアップについて

1. データセット印刷プログラムSPSTINGY

SPSTINGY[1]で, PFD日本語EDITで作成した日本語文章が出力できるようになりました。このためには, オペランドJEFを指定してください(ただし, 出力形式はOC, SC, KC, UCのみ)。

2. 流れ図付きソースプログラム作表システムFORTFLOW

FORTFLOW[2]で, 流れ図が縮小形式で出力されるようになりました。詳細は, 文献[3]

を参照してください。

#### 参考文献

1. 吉田 データセット印刷プログラム Super stingy の使用について，九大大型計算機センター広報，16，4，440 - 450，1983. No.
2. 九大大型計算機センターニュース№295，流れ図付きソースプログラム作表システムの改訂について
3. 牛島，藤村，掛下 流れ図付きソースプログラム作表システム — Fortflow の改訂について— 九大大型計算機センター広報，18，1，38 - 41，1985.

(ライブラリ室 電(内)2523)

#### 5. Prolog/KRの使用について

Prolog/KRが使用できるようになりました。これは、東大工学部計数工学科和田研究室(中島秀之氏作成)から譲り受けて移植したものです。このシステムは、富士通提供のUTILISP[1]の上で動作し、コマンドPROLOGKRにより、このPrologインタプリタが起動されます。

使用に際しては、英文マニュアルをMANUALコマンドにより出力(オペランドにPROLOGKRと指定)して参照してください。ただし、このマニュアルはVersion C-15用ですので、Version C-16用については、図書室またはプログラム相談室の資料(九大大型計算機センター作成マニュアル)を参照してください。

なお、本年9月頃「Prolog系言語講習会」を開催する予定です。

#### 参考文献

1. 九大大型計算機センターニュース№300，UTILISPの使用について

(ライブラリ室 電(内)2523)

#### 6. 結晶構造データベースシステムXDTのデータの追加について

1月28日からXDT[1]は結晶解析数が1,364増えて、全体で43,745になりました。化合物数の増加は1,170で、全体で39,189です。

#### 参考文献

1. 河野ほか 結晶構造データベースシステムXDTについて(総合版)，九大大型計算機センター広報16，6，1983，556 - 604.

(データベース室 電(内)2510)